

様式 3

教員資格及び教育内容等の自己評価書様式

【自己評価 1-1】専任教員の配置状況

学部 ・学科等 の名称	専任教員数				非常 勤教 員	専任教員 一人あた りの在籍 学生数	備考
	専任教員	計	基準 数	うち 理学 療法 士又 は作 業療 法士 数			
作業療法 士科（夜 間部）	3人	3人	6人	3人	人	12人	人
計	3人	3人	6人	3人	人	12人	—

【自己評価 1-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正であり、かつ関連領域を教授できる医師等の専門家が配置されている。	3
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正である。	2
○	理学療法士又は作業療法士である専任教員の人数が適正でない。	1

【自己評価 1-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	全ての養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	4
	9割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	3
	8割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	2
	上記以外である。	1

【自己評価 1-4】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、全員が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	3
○	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、一部が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	2
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、臨床に携わることで臨床能力の向上に努めていない。	1

【自己評価 2-1】 養成施設指導ガイドラインとの連動状況

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・ 兼任)
専門基礎 分野	人体の構造と機能 及び心身の発達	基礎医学特論Ⅱ	30	中村勇貴	専任
専門基礎 分野	疾病と障害の成り 立ち及び回復過程 の促進	小児科学	8	佐々木愛里	兼任
		整形外科	15	諸澄孝宜	兼任
		内科学	15	田中直幸	兼任
		精神医学	15	滝吉翔	兼任
		一般臨床医学Ⅱ	15	星野裕亮	兼任
		病理学概論	15	大和田みな未	兼任
		脳神経内科学	15	大和田みな未	兼任
専門分野	作業療法管理学	作業療法管理学	15	二村元気	兼任
専門分野	作業療法評価学	身体運動系評価学Ⅱ	8	泉良太	専任
		身体運動系評価学演習	8	泉良太	専任
		精神心理系評価学Ⅱ	8	魚岸実弦	兼任
		精神心理系評価学演習	8	魚岸実弦	兼任
専門分野	作業療法治療学	義肢装具学	15	岩本大志	兼任
		運動器障害作業治療学	30	中村美歌	兼任
		中枢神経障害作業治療学	30	中村美歌	兼任
		精神障害作業治療学	30	魚岸実弦	兼任

		発達過程障害作業治療学	30	佐々木愛里	兼任
		高齢期障害作業治療学	30	早川るみ子	兼任
		高次機能障害作業治療学	30	中村勇貴	専任
		日常生活活動学演習	30	星野裕亮	兼任
専門分野	臨床実習	臨床実習Ⅱ	45		
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	基礎医学特論Ⅲ	30	小林誠	兼任
専門分野	臨床実習	地域実習	45		
		臨床実習Ⅱ	45		
		臨床実習Ⅲ	45		
専門分野	その他	作業療法総合学習Ⅰ	30	渡辺陵介	専任
		作業療法総合学習Ⅱ	30	石井茉弥	兼任

【自己評価 2-2】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input type="radio"/>	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程を体系的に編成している。	3
	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程をおおむね体系的に編成している。	2
	養成施設指導ガイドラインに基づいていない、または教育課程を体系的に編成していない。	1

【自己評価 2-3】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input type="radio"/>	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	4
	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法をおおむね明記している。または、大半の授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	3
	シラバスの記載が十分ではない。	2
	シラバスが作成されていない。	1

【自己評価 3-1】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input type="radio"/>	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施している。	4
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習をおおむね実施している。	3

	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を十分に実施していない。	2
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施していない。	1

【自己評価 3-2】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input type="radio"/>	講義と関連の実習が十分に連動して実施されている。	4
	講義と関連の実習がおおむね連動して実施されている。	3
	講義と関連の実習が十分に連動して実施されていない。	2
	講義と関連の実習が連動して実施されていない。	1

●基本情報：臨床実習の見学又は実践する範囲とそれに関連する講義科目それぞれの開講時期を記入してください。

臨床実習の見学又は実践する範囲	開講時期	関連講義名	開講時期

【自己評価 3-3】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で十分な臨床実習が実施されている。	3
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で一部の臨床実習が実施されている。	2
<input type="radio"/>	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設を置いていない。	1

【自己評価 3-4】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input type="radio"/>	適正な臨床実習指導者の下で実習が実施されている。	4
	適正な教員の監督指導の下で実習がおおむね実施されている。	3
	適正な教員の監督指導の下で実習が十分に実施されていない。	2
	適正な教員の監督指導の下で実習が実施されていない。	1

【自己評価 3-5】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input type="radio"/>	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制があり、対応が十分である。	3

	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制はあるが、対応が十分でない。	2
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制がなく、対応も不十分である。	1

【自己評価 4-1】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	自己点検・評価の体制があり、改善に向けて機能している。	3
	自己点検・評価の体制はあるが、改善に向けて機能していない。	2
	自己点検・評価の体制がない。	1

●基本情報：自己点検・評価体制記入してください。

自己点検・評価組織名	作業療法士科自己点検・評価委員会
委員名（委員長）	菊池 紀子
組織の開催頻度	1年に一度
組織の取り組み内容	・ 専任教員採用に向けた対策の検討
	・ 教育改善に向けた問題点の発見と対策検討
	・ 実習施設との連携の強化
	・ 学生状況の把握と対策検討
自己点検・評価結果の公表	HPで公表（URL： <a href="https://www.tcw.ac.jp/disclosure-of-information/school-information">https://www.tcw.ac.jp/disclosure-of-information/school-information</a> ）

【自己評価 4-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバス記載内容を改善する仕組みがあり、シラバスの記載内容の改善が行われている。	3
	シラバス記載内容を改善する仕組みはあるが、シラバスの記載内容の改善は十分ではない。	2
	シラバス記載内容を改善する仕組みがない。	1

●基本情報：シラバス記載内容を改善する仕組みについて記入してください。

該当する 仕組み	名称	教育課程編成委員会
	委員構成等	業界有識者 職業団体代表 教務部長 学科職員 等
	改善の仕組みの実際	年2回教育課程編成委員会を開催し、教育内容の改善に努めている。

【自己評価 4-3】自己点検・評価及び第三者評価の結果を改善に繋げるための取り組みを記入してください。

専任教員の充足に向け、採用活動に注力し、HP 等掲載を行う。